

## 次号予告

- 特集 地域における理学療法士・作業療法士  
訪問指導のあり方—理学療法士の立場から  
.....都立心身障害センター 高田 京子  
訪問指導のあり方—作業療法士の立場から  
.....養育院病院 石井 晴美  
家屋改造の実際—我々が行なってきた  
改造の経験をとおして.....兵庫リハセンター 大峯 三郎  
通園センターにおける作業療法士の役割  
.....肢体不自由児協会 大村 道子  
地域リハビリテーション活動における  
理学療法士・作業療法士の役割.....清瀬カペナム病院 宮崎 祐一  
とびら こども達とのつき合いの中で (OT としての  
自覚と反省) .....川崎身障センター 長谷川 元  
講座 運動学シリーズ VI. 足関節の運動学 (1)  
.....板橋ナーシングホーム 丸山 仁司  
雑誌レビュー The British Journal of Occupational  
Therapy (1976 年版) まとめ.....神奈川リハセンター 原 和子  
AJOT (1976 年版) まとめ .....大牟田労災病院 光岡 洋子  
体験記 障害者一日体験記 4. 視力障害  
(学生実習から) .....高知リハ学院 浅野 良一・他  
メディカルプログレス 障害者心理 (1).....国立身障センター 永井 昌夫  
リハビリテーション機器 (1) 総論 .....都補装具研 加倉井 周一  
Q and A 「肢体不自由児施設の展望など  
おきかせ下さい」 .....Q: 秦 俊江・A: 高松鶴吉 (足立学園)  
本の紹介 和才嘉昭・他著「リハビリテーション医学全書 5.  
測定と評価」 .....兵庫リハセンター 山下 隆昭  
グレン・ドーマン著/幼児開発協会訳  
「親こそ最良の医師」 .....和光園 田原 澄彦

## 編集後記

今月号は、特集「筋トヌスと不随意運動」をお送りします。リハビリテーションの過程において進歩の度合いの困難なものがこの不随意運動に対するとらえ方で、薬物療法との併用で長期的経過をたどっている様です。

今回は「不随意運動の発現機序」、「不随意運動の臨床について」をそれぞれ吉田先生と真野行生先生に執筆いただいております。

『とびら』にも出ている様に、リハビリテーションという言葉が巷に流れて早十数年、確かに最近ではその言葉を理解して下さる方が増えてきました。従ってリハビリテーションを受けた患者さんも増え、評価

があちこちでされ始めております。その様な中でセラピスト自身が単なる技術の提供者で終わっているのではないのでしょうか。そろそろマンネリ化がちらほら頭をもたげている様な感じがします。

本誌の＜フォーラム＞に出てくる皆さんからの声である雑感を読んでいて、ほんとうに楽しいです。ほんのわずかなページから、共に働く仲間の呼吸があり、数年経過した時の流れをききとっており、明日への地域サービスへの展開が小さくともしび運動となってリハビリと云う言葉が広まっています。そして又このジャーナルにも新しい息吹きが出現する事を読者の皆様と共にまち望んでいる一人です。(佐藤 馨)

### <編集顧問>

天 児 民 和  
九州労災病院長  
五味 重 春  
筑波大学心身障害学系教授  
砂 原 茂 一  
国立療養所東京病院長  
津 山 直 一  
東京大学教授・整形外科  
水 野 祥太郎  
川崎医科大学学長  
(五十音順、以下同じ)

### <編集委員>

上 田 敏  
東大リハビリ部  
荻 島 秀 男  
都養育院リハビリ部  
佐 藤 馨  
神奈川リハセンター  
鈴木 明 子  
府中リハビリ学院  
谷 岡 淳  
自治医科大学  
寺 山 久美子  
都心障センター  
福 屋 靖 子

松 村 秩  
都養育院リハビリ部

### <編集同人>

明 石 謙  
大 井 淑 雄  
大 川 嗣 雄  
大 橋 博  
鎌 倉 矩 子  
紀 伊 克 昌  
小 林 夏 子  
駒 沢 治 夫  
佐 藤 剛  
田 原 澄 彦  
富 岡 詔 子  
奈 良 勲  
藤 沢 しげ子  
藤 本 欽 也  
前 田 守 子  
松 本 妙 子  
矢 谷 令 子  
山 下 隆 昭  
横 山 巖  
和 才 嘉 昭  
(担当 細田・西塚)